

## 1. 臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、九州大学病院薬剤部では、現在腎移植、肝移植術後の患者さんを対象として、免疫抑制薬エベロリムスとカルシニューリン阻害薬の併用効果に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和5年6月30日までです。

## 2. 研究の目的や意義について

臓器移植において、免疫抑制薬エベロリムスはタクロリムスやシクロスポリンといったカルシニューリン阻害薬と併用することで、拒絶反応の抑制だけでなく、カルシニューリン阻害薬の減量による腎毒性や合併症の軽減も期待されています。しかし、日本ではエベロリムスが腎移植、肝移植の患者さんに使えるようになってからまだ日が浅く、これらの免疫抑制療法に関する情報が不足しています。そこでこの研究では、臓器移植におけるエベロリムスとカルシニューリン阻害薬の併用療法の有用性ならびに適正な使用方法、新たな使用方法の指標を明らかにすることを目的としています。

## 3. 研究の対象者について

九州大学病院において平成24年1月1日から研究許可日までに臓器移植術を受け、免疫抑制薬を使用された方100名（腎移植患者さん50名、肝移植患者さん50名）を対象にします。

## 4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。

〔取得する情報〕

年齢、性別、身長、体重、薬物血中濃度解析の結果、血清生化学データ、尿検査データ、血算、薬歴、原疾患、移植術施行年月、ドナー臓器の情報（血液型の適合の有無、生体もしくは脳死からの提供）、有害事象（GVHD、生着不全、腎障害、手術創治癒遅延、高血糖、口内炎、感染症、移植腎血栓症）発現状況

さらに免疫抑制薬の血中濃度を測定する際に提出された血液の残りをを用いて、免疫に関する

る因子（免疫チェックポイント分子）の濃度を測定します。新たに採血等を行うことはありません。

## 5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、容易に研究対象者が特定できる情報を削除して取り扱います。この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学病院薬剤部・部長・家入一郎の責任の下、厳重な管理を行います。

## 6. 試料や情報の保管等について

[情報について]

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学病院薬剤部において同分野部長・家入一郎の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

## 7. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

## 8. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院薬剤部 (分野名等)
研究責任者	九州大学病院薬剤部・准教授・江頭伸昭
研究分担者	九州大学病院・薬剤部・薬剤師・山本奈々絵 九州大学病院・薬剤部・薬剤師・末次王卓

九州大学病院・薬剤部・薬剤師・重松智博  
九州大学病院・第一外科・助教・岡部安博  
九州大学・医学研究院消化器・総合外科学分野・准教授・吉住朋晴  
九州大学・薬学部・倉光宗一郎

## 9. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

事務局 担当者：九州大学病院薬剤部 末次王卓  
(相談窓口) 連絡先：〔TEL〕 092-642-5929 (内線 5929)  
〔FAX〕 092-642-5937  
メールアドレス：suetsugu@pharm.med.kyushu-u.ac.jp